

はじめまして、森之宮病院です。

森之宮病院は、大道病院の「急性期医療」とポバース記念病院の「日本有数のリハビリテーション医療」を集約・高度化した新しいスタイルの病院です。

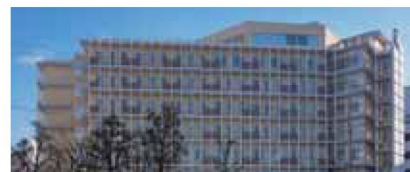


理 念

- 地域に信頼される、高度で安全な医療を提供します。
- 生活機能の向上に導く、質の高いリハビリテーションを提供します。

基本方針

- 医学的根拠に基づいた、適切な医療を提供します。
- 医療の安全性を重視した、安全文化を定着させます。
- 受診される方やご家族の方々の権利と希望を尊重した、説明と同意に努めます。
- 地域の医療機関との連携を密にして、最適な医療・福祉サービスを提供します。
- 人間性と技術にすぐれた人材育成のため、教育と研究を推進します。



特 長

●急性期医療の充実

大阪市東部で不足している循環器領域への幅広い対応を行います。心疾患は日本人の死亡原因の第2位で、しかも急性発症が多くを占め、迅速な対応が求められます。このため、新しい機能として、循環器内科、心臓血管外科を含む心臓血管センターを設立し、心臓カテーテル治療、手術までを含めた迅速な治療を24時間救急対応で行います。大動脈の高度な手術や末梢血管の手術も提供します。

●日本有数のリハビリテーション医療

ポバース記念病院で培った経験をもとに、日本トップレベル140名の療法士（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）による質の高いマンツーマンのリハビリテーションを提供します。日本で初めて、すべての病棟にリハビリテーション室を設置。さらに充実した治療環境で、ご入院の方の社会復帰のお手伝いをいたします。

●公私医療機関との連携強化

大阪府立成人病センター、大阪ガン検診予防センター、健康科学センターなどが集まる森之宮健康ゾーン。ここに初めて開設する民間医療機関として、時代が求めるニーズに柔軟に対応する、民間ならではの役目を担います。公私医療機関と協力し合いながら、森之宮病院の役割を問い続け、地域のみなさまに最適な医療サービスを提供します。

概 要

- 名 称 特定医療法人 大道会 森之宮病院
 所 在 地 〒536-0025 大阪府大阪市城東区森之宮2-1-88
 T E L 06-6969-0111(代表)
 F A X 06-6969-8001
 ホームページ <http://www.omichikai.or.jp/>
 病 院 長 大道 道大
 診 療 科 目 総合内科、呼吸器科、消化器科、外科、心臓血管センター（循環器内科、心臓血管外科）、神経内科、リハビリテーション科、整形外科、泌尿器科、小児神経科、小児整形外科、歯科（小児歯科、口腔外科）、放射線科、麻酔科
 診 療 時 間 平日：午前9時～午後5時
 土曜日：午前9時～午後1時
 休 診 日 土曜午後・日曜、祝日
 病 床 数 351床 二次救急指定病院
 総敷地面積 6,230.94㎡
 構 造 地下1階
 地上8階建て
 塔屋1階





青空と虹のイラストが印象的な小児病棟のデイルーム。
子どもたちが楽しく過ごせるよう、スタッフがアイデアを出して実現した。



動物のイラストを描いたこども病棟廊下。



外来の受診者様をお迎える1階の総合受付。
モニター画面で診療や会計などの進行状況がわかるようになっている。



1階には親子で利用できる
トイレを配置。

受診者様にとってわかりやすく親切な空間を
目指して、サインにも工夫を凝らした。



地域の方にもご利用いただける「こもれび広場」の図書コーナー。
自然と、ここで読書を楽しむ方が増えつつある。

●病院と一体化したリハビリテーション

リハビリテーション部門は、理学療法科、作業療法科、言語療法科の3部門から構成されています。各療法のさまざまな治療法に加えてボース概念による治療を取り入れ、受診者様おひとりお一人に合わせた質の高い治療の実現をめざしてきました。

病棟ごとに理学療法・作業療法室を設置し、病棟と一体化したリハビリテーション医療をさらに進めています。看護部と協力して作り上げてきた生活レベルでのリハビリテーションをより充実させて、心身機能の向上から、日常生活全般の活動の向上、社会参加の支援に向けて、より幅広い治療体制を築きあげることをめざします。

●すべての方にやさしく、わかりやすく

院内には、小さなお子さんからご高齢の方まで、すべての受診者様にわかりやすく、やさしくをめざした工夫がいっぱいです。色や形でわかりやすいサインを導入した外来、お星様や動物で子どもたちが楽しめる小児病棟、近隣の方が自由に利用できる「こもれび広場」の医療情報や図書のコーナーなど。バリアフリーを推奨するハートビル法の認定も受けています。



すべての病棟にリハビリテーション室を配置。



「足の調子はどうですか？」
医師や療法士も可能な限り病室を
訪れように心掛けている。

建物中央に設けられたスタッフステーションにさまざまな職種のスタッフが
集い、チーム医療を目指している。